

まちの人に 聞いて みました

東大阪の皆さんは、
女性のチャレンジについてどう考え、
どんなことを望んでいるのでしょうか。
地元をよく知る市内の大学生たちと
一緒に、街頭アンケート調査を実施し、
まちの生の声を集めてみました。



意欲あふれるまちの声が続々!

- 家事・育児に支障のない範囲で働きたいので、残業はムリ。となるとパートだが、本当はやりがいのある仕事をしたい。(30代女性・既婚)
- 妻には家にいてもらいたいという気持ちもあるが、働きたいと言うなら、本人の希望は尊重したい。家事・育児もできるだけ協力はするつもり。(20代男性・既婚)
- 派遣から正社員に転職したばかり。少々残業があっても、やりがいのある仕事があったから。今のうちに専門性を磨いて、将来子どもができて、独立開業するなど何らかの形で仕事は続けていきたい。(20代女性・未婚)
- 保育園に入所できるなら、ぜひ働きたい。ずっと子どものそばにいたい気もするが、育児から離れて外に出ている時間も自分にとって必要だと思うから。(20代女性・既婚)
- 出産を機に仕事を辞めたが、本当は働き続けたかった。当時の職場の理解も足りなかったと思う。(40代女性・既婚)
- 今は自宅でできる仕事をしている。でも将来の安定性や、仕事に対するやりがい・専門性を考えると、できれば正社員で働きたい。下の子を学童保育に入れることも考えている。(40代女性・既婚)

▶ みんなが望むチャレンジ支援とは?

- 手頃な保育料で安心して利用できる認可保育園が、月のうち1週間だけ、週に数日だけ、と気軽にいろんな使い方ができたら便利でいいのに、と思う。(30代女性・既婚)
- 妻は現在、育休取得中。私の収入だけでは、妻が仕事を辞めて育児に専念することは考えられないので、ぜひフルタイムで働きつけてほしい。自分も家事を分担したいが残業が多く、双方の親に頼らざるを得ないのが現状。(30代男性・既婚)
- 二人の子どもを育てながら仕事を続けてきた。女性にとって、仕事を持つのはとても大事なことで、ただそのためには、夫や家族の理解と、保育施設の充実が不可欠。(70代女性・既婚)
- 子どもの中学入学を機に、再就職を真剣に考えている。ブランクが長いので不安。年齢や勤務時間の条件が合う求人が少ない。(40代女性・既婚)
- ただでさえ入りにくいと聞く保育園、二人の子どもが同じ園に入園できるかが問題。パートでもいいから働きたいが、夫の帰りが遅く現実にはなかなか難しそう。(30代女性・既婚)
- 今は無職だが、ぜひフルタイムで働きたい。年齢制限も気になるが、保育施設・勤務時間・残業の有無など問題は山積み。仕事探しに関して相談できる場所がほしい。(30代女性・既婚)
- 家事・育児との両立に理解ある勤務先を探すのは難しそう。育児休暇や勤務時間短縮など、法で定められていることを企業にはきちんとしてほしい。(30代女性・既婚)

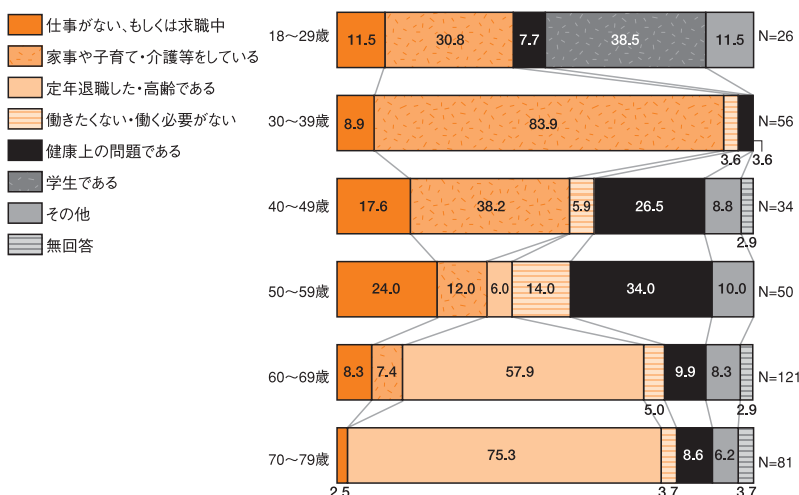
“女性の活躍に、大いに期待しています!”

当店の女性スタッフは、子育て中の20~40代が中心。お子さんの急病や学校行事にも、できるだけ柔軟に対応するようにしています。パートタイムとはいえ、中には勤続10年という人も。当店にとって女性スタッフは、なくてはならない頼もしい戦力です。
(市内スーパー店長・談)

アンケートにご協力いただいた皆様
ありがとうございました

東大阪市・男女共同参画に関する市民意識調査 ※2005年9月、18~79歳の男女3000人を無作為抽出し実施。

●年齢層別「働いていない理由」(女性のみ)



●働きたいと思ったとき気がかりなこと(複数回答)

